2023年度・第8回未来会議（全体会）議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）会長　須都　紘
副会長兼書記・広報　伊藤　智子

日時：　2023年11月19（日）13：30～15：50

場所：　いきいきホール2階　大会議室

出席者（順不同、敬称略）：
須都　紘（会長）、黒部　實（副会長）、伊藤　智子（副会長・書記・広報）、
鎌田　卓（事務局長・会計）、山田　勲、黒田　勝行、山田　修、田口　信義、
平尾　英城、中川　浩光、
オブザーバー：　中尾　節子
欠席：　三室　哲哉、渡辺　昇、中世古　昭一、山地　祐輔、蔵田　かほり

配布資料：
① 令和5年度第8回（11月）未来会議（全体会＆分科会）議題
② 未来会議全体会　子育て分科会報告　2023年11月19日（日）
③「集える公園へ　若い世代指導　生駒・鹿ノ台　親子ら水遊び」（朝日新聞11月11日朝刊）コピー
④ 鹿ノ台春まつりのコンサート参加団体
⑤ 鹿ノ台春まつり　出演・出店者リスト V3
⑥「脱炭素化懇談会」へのお誘い（案）
⑦ 自治体新電力×コミュニティの力で新しい脱炭素住宅都市モデルを実現する取り組みを促進
⑧ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線　実証運行　乗車実績（人数）R5.10月度
⑨ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 実証運行実績 分析【令和5年10月度】
⑩ ECOKA 活動資料
⑪「未来会議に関連する事案を専門家からの勉強会開催を提案」

会長挨拶

―未来まちづくり会議は、鹿ノ台をより魅力的で住みよいまちにするために、知恵を出し合い、施策にまとめ、実現することを目的としている。5つの柱として、①子育て世代の転入促進、②交流と賑わいのまちづくり、③安全・安心・防災のまちづくり、④花と緑豊かなまちづくり、⑤高齢者に優しいまちづくりを柱に活動している。
―今日は、転入促進の一環として、中央公園やスポーツ公園のより良い活用のあり方、および交流・賑わいづくりの一環として、来年3月に実施予定の「春まつり」の準備・進捗状況について報告してもらう。加えて、ECOKA より鹿ノ台の緑地・環境整備の活動について説明していただく。さらに、「脱炭素化懇談会」の立ち上げに関して議論していく。
―なお、今回より会場を変更した。オンラインでの参加希望があったため Wi-Fi

環境の整ったいきいきホールで開催することにした。

子育て分科会報告

・鹿ノ台中学校バスケットボール部部員・保護者有志によるバスケットゴール設置の要望について：

―この要望は、今年夏頃より鹿ノ台中学校バスケットボール部保護者が中心となりまとめてきた。鹿中バスケ部部員や OB、地域のバスケットボール愛好者が集い、一緒にプレイして交流を深めることを目的としている。未来会議の中央公園についてのアイデア募集でも希望が多かった案件である。
―10月の未来会議幹事会で相談し、鹿ノ台中学校バスケットボール部の杉浦コーチ（生駒市総務課参事）に相談させていただくこととした。
―10月12日（木）、生駒市総務課の杉浦参事、みどり公園課の巽課長と話し合い、スポーツ公園への設置を来年度予算を要求する方向で検討することとなった。
―10月22日（日）、未来会議全体会に諮り、周辺住民に向けた騒音に関する実証実験を10月28日（土）に行うことが承認された。
―10月23日（月）、スポーツ公園周縁のお宅に「実証実験のお知らせと協力のお願い」を配布した。その後、複数の住民の方より、①実証実験、および②スポーツ公園のこれまでの管理、の2点についてご意見を頂いた。これまで夜間・早朝の騒音問題が繰り返されており、相談する先がないことが問題だと判明した。
―10月25日（水）、未来会議幹事と相談の上、実証実験の一旦中止を決め、東二丁目自治会長の渡邊さんにこれまでの経緯を説明するメールを送信した。
―10月27日（金）、これまでのスポーツ公園の管理に関する住民の皆さんのご懸念を解消することが先であろうと考え、実証実験の中止を決め、お知らせを配布した。
―11月12日（日）、鹿ノ台中学校バスケットボール部保護者3名と話し合いを行い、スポーツ公園の管理について一定の解決が図られる必要があるとの認識で一致した。この問題について自治連合会でご検討いただければ有難い。
―バスケゴールの設置に向けた働きかけについては、できれば来年度に再開したい。具体的には、設置場所などを再検討し、また、周辺住民の方と東二丁目自治会の評議会に丁寧に説明していきたい。
―この活動の一環として、来年度に入ったら、実証実験も兼ねてバスケゴールを借りてスポーツ公園においてバスケを楽しむ週末イベントを実施したいと考えている。

・中央公園にフリーWi-Fi を設置する計画について：

―9月12日に KCN に現地を確認して、検討していただいた。気象レーダーや空港管制などに影響する可能性があるため、屋外で使えない周波数帯があること、電源確保が必要であることなど、いくつかクリアしなければならない問題があることが分かった
―KCN が電源工事を含めた見積書を作成して下さったが、金額が大きすぎて現実的でなかった。モバイルルーターについても複数の事業者に相談してみたが、

安定性や速度、キャパシティなどの問題が大きく、実用的ではないことが分かった。
―今後、実現可能性のあるプランがあれば検討を再開したいが、現状では実現は不可という結論となった。

・鹿ノ台の公園利活用を推進している子育て世代と小紫市長とのお茶会：

―中央公園プロジェクトについて、アイデア募集、ワークショップ、夏のプールイベント・水鉄砲バトルなどを実施する度に、小紫市長に報告書を手渡してきた。
―今回、市の広報広聴課より、中央公園でイベントを実施した子育て世代の方々と小紫市長がお茶会をしたいとのお話を頂いた。
―11月18日（土）午後、ふれあいホール小集会室にて、プールイベント・水鉄砲バトル・蚤の市の実施に関わった30～50代の女性6名で市長にお会いし、意見交換を行った。
―市からは広報広聴課の大垣課長、秘書課の川口課長に加えて、みどり公園課の巽課長も参加して下さった。
―参加者からは、公園で焚火シートを使って焚火をしたい（市としては申請があれば可能とのお返事）、アウトドアグッズを市が有料で貸し出してほしいなど、公園利用に関する意見に加え、ファミリーサポートを鹿ノ台の公共施設で提供したい、保育園についてなど、率直な意見が多数出された。

質問： ファミリーサポート制度はどんな制度で誰が対象か。サポート会員には資格は要らないのか。
回答： 対象は未就学児や小学生である。子どもを預かるサポート会員と、預かってもらう会員をマッチングし、保険も提供する国の制度である。サポート会員は講習を受けてから登録をする。本来はサポート会員の自宅かつ1階での預かりを前提としているが、生駒市は今年より、生駒駅前のビル（3階）の子育て支援総合センター（みっきランド）でのサービス提供を試行している。鹿ノ台でも希望があれば、来年度以降に再度相談してみて欲しいとのことである。
質問： スポーツ公園の管理について。相談の窓口、苦情の受け皿はつくれるのか。
回答： これまで自治連合会はスポーツ公園の管理を直接は行ってきていない。利用グループが当事者同士で調整し、年に1度、使用日程の申請をグループ毎に行っていただいている。気球を上げたときは、実施者が日曜日の午前中を利用しているグループに直接交渉して使わせてもらった。今後、スポーツ公園を利用しているグループと連合役員会で意見交換をすることになっている。ルールが必要なのか、必要ならどのようなルールにするのか、話し合いたい。
意見： 週末は8時から野球チームの練習があるため、サッカーやテニスをしたい個人は早朝（8時まで）にやるしかないため、早朝利用が絶えない結果となっている。そのような課題も含め、今後の利用のあり方とルールについて検討をして欲しい。

鹿ノ台春まつりについて

―コンサートについては「Toiro」、「Violet North」、「KEIKO＆とおる」の3グ

ループに加え、「K‘s」、「パプリカ」、「生駒弦楽アンサンブル」の3グループが参加されることとなった。合計6グループを予定している。
―マルシェ、キッチンカーは前回から変更はない。
―参加グループ・事業者がほぼ確定してきたので、今日この後、現地で打ち合わせを行い、各催しのレイアウトを確定し、図面を作成したい。
―春まつり実施後、参加グループ・事業者らにアンケートを実施し、次にどうつなげるのかを考え、決定する材料としたい。
―①できるだけ予算を使わない、②評議員に負担をかけない、有志（ボランティア）で実施する、という2点を基本に企画してきた。
―予算は2万7000円としているが、キッチンカーに合計5000円を協賛金として出していただき、また、出演者の飲料を協賛店舗に提供していただくようお願いするつもりだ。

令和5年度未来会議と自治連合会との連絡会について

―連絡会は11月23日（木・祝）9：30～11：30、いきいきホール2F大会議室で開催する。
―出席者は、自治連合会からは連合会長・連合副会長4名の合計5名、未来会議からは幹事会メンバー4名＋有志（黒田さん）が出席する。
―未来会議からは、「転入促進～魅力あるまちづくり」という内容で、これまでの取り組みと今後の予定について、および見えてきた課題について話をしたい。
―連合役員会からは、「地域共生社会～繋がりを通してより良い未来を」という内容で話をしていただく。
―双方から、それぞれ約10分説明を行い、その後、フリーディスカッションを行う。特に結論を出す方向にする必要はない。

脱炭素化懇談会について

―1月19日、生駒市 SDGs推進課が、国の「脱炭素化先行地域」プロジェクトについて説明会をいきいきホールで開催した。4月には、生駒市が「脱炭素化先行地域」に選定された。生駒市は R5～9年にソーラーパネルと蓄電池の設置その他に事業費として41億円を投じる。
―鹿ノ台もその対象地域に名乗りを上げたので、市内5つの対象地域の一つに選ばれた。そのため、このプロジェクトの「受け皿」となる組織をつくる必要があるとの提案があり、意見交換を重ねてきた。
―自治連合会で「脱炭素化懇談会」を発足させ、その後「準備委員会」⇒「委員会」と格上げしていったらどうか、という話になってきた。このことについて「脱炭素化懇談会へのお誘い」という文章を作成した。
―このプロジェクトでは、国の補助金を使い、市が設立する特別目的会社（SPC）を通じていきいきホールにソーラーパネルを設置する検討が進んでいる。このソーラーパネルは設置後5～10年間は SPC の所有であり、この間、自治連合会は電力購入契約（PPA）を通じて使用した電気代を支払うことになる。しかし以後は、自治連合会に所有権が譲渡されるため、発電された電気も自治連合会のものとなり、同時に管理にかかる費用も自治連合会が支払うことになる。

―鹿ノ台からは、古い集会所は、薄いペロブスカイト型ソーラーパネルを適用することや、複合型コミュニティづくりとの連動も提案していきたいと考え、懇談会の設置を提案した。ソーラーパネルの管理など、長期的な活動になると見込まれるため、また、一般住宅にも設置される可能性があるため、若い世代や女性にも積極的に参加して頂きたいと考えている。
―懇談会の立ち上げメンバーについては、①公募にする、または②1月19日の説明会に参加された方の中から5人程になっていただき、その後、徐々に新メンバーを見つけて広げていくという形を考えている。
―具体的な検討は、市の計画が明確化する年度末以降となるが、いきいきホールへのソーラーパネル設置は R5年度予算に含まれている。設置されれば実質的にいきいきホール運営員会が管理することになるであろうことを含め、いきいきホール運営委員会でも話し合いが必要である。
―北地区の複合型コミュニティ「北サロン」や、東地区で今後申請する複合型コミュニティの取り組みに脱炭素化をどのように取り入れていくか、という課題も考えていきたい。
―12月の連合役員会でも話し合い、懇談会の提案を最終化し、回覧する。未来会議メンバーも、参加したい方は個人の資格で参加することとする。

鹿ノ台森林・環境維持活動について（ECOKA 報告）

―ECOKA 委員会は過去15年間、鹿ノ台の環境整備に取り組んできた。
―周辺緑地合計12ヘクタールの整備を行っている。日々、体を使っており、非常に大変である。不法投棄されるゴミの撤去、笹藪の伐採と植樹、などなどを日々続けている。
―植樹は合計1500本を超えた。ただ2～3割は枯れてしまう。
―配布資料は、小学校5年生の環境教育の授業で使用するものである。
（地球温暖化・炭素循環・校庭芝生化・周縁緑地の整備・植樹）
―ECOKA は緑地の整備だけをしている団体ではない。
―鹿ノ台小学校の芝生化（8000m²）・芝生維持管理を育友会と共に行ってきた。
―12～13年前には学校のフェンスで繁茂したカイヅカイブキを半年かけて下枝を落として整備した。
―中央通りの植樹帯のヒラドツツジも、枯れてしまった木を撤去し新たに植樹をすることを続けている。
―街路樹のユリノキも枯れたら伐採し、切り株から生えてきたひこばえを一本仕立てにすることで市の経費の節約に一役買っている。
―環境省から賞を頂いたとき77本の苗木を頂き、中央公園に植樹を行った。
―中央公園の桜の木もそろそろ植え替えないと次の世代まで持たない。

意見： 地下で微生物を介して木と木が共生していることも紹介して欲しい。

鹿ノ台コミバス月度乗車実績について（報告）

<u>10月度の乗車実績：</u>

―R5年10月の実証運行の日数は12日、乗車実績は累計591人、一日あたり平均49．3人、一便あたり6．2人だった。午前中に登美ヶ丘方面に行き、午後早い時間に帰ってくる人が多い。
―10月度は前年同月比で乗客が16％増えている。コミバスの認知度が上がり、利便性が理解され、新しい利用者が増えている。
―収入比率は31．74％、8～10月の累計は、乗車人数は1日あたり53.6人、収入比率は33．9％であり、前年同期比で17％増えている。
―例年11月からの寒い時期は利用者が減るが、乗車促進策を考えて実施していきたいので、引き続きご支援をお願いしたい。

未来会議の活動テーマに即した勉強会の提案（黒田さんより）

―デジタル推進課スマートシティ推進室に依頼し、「生駒市スマートシティ構想（案）」について説明してもらう勉強会を開催したらどうか。
―超高齢化地域への取り組みについて、地域包括ケア推進課と地域包括支援センターの役割・分担、鹿ノ台地域との連携のあり方などについて説明する講座を実施したらどうか。
⇒　スマートシティについては ICT 委員会、超高齢化地域の取り組みについては「支え合い委員会」が勉強会の実施主体になっても良いのではないか。

次回

日時：　2023年12月17日（日）13：30～16：30
第I部　全体会　13：30～15：10
第II部　分科会　15：15～16：30

幹事は13：15集合

場所：　いきいきホール大会議室

以上